

四 第三の特色——純潔なる精神

吾人は坑夫の精神は他の何れの社會階級に比するも劣らざる、立派なる精神であると思ふのである。それは歴史的に發達したのであるが、同時に男性的な勞働に従事する結果、自然に左様な氣風が養成されるのであらう。これ等はみな勞働運動を大成する精神的基礎である。坑夫の精神の美點を擧ぐれば次の如くである。

一 信義の念に厚し

坑夫は卑劣な嘘を吐かぬ。また自己の利の爲めに同僚を陥るゝか如き陋劣な心を持つてゐない。

二 相互扶助の感情に富む

同僚の危急には身を挺んで進み、幸福は共に喜び不幸は共に悲しむといふが如きは坑夫の間には最も普通のことである。奉頭帳の如きも其一例である。

三 自治の精神強し

自治とは自分のことは自分でするといふことである。坑夫は坑夫自身のことを自ら治め敢て資本家の援助を借らざる風が最も發達してゐる。大當番の如きはそれである。

四 團結心強し

坑夫は坑夫のこととなれば如何なる困難をも恐れぬ風がある。團結は坑夫の生命である。

五 勇敢なること

勇氣は坑夫の特色である。屁理屈をいふことが少くて實行力が強いのである。今日の社會を見るに上流と呼べる、怠惰者の階級は徒らに私利を好みて不當の奢りをしてゐる。中流階級といわるゝものは生活に憚み氣力を失つてゐる。勞働者と雖も其の一部のものは徒らに口先のみ巧にして實行力を缺いてゐる。眞に純潔